



令和5年10月6日

報道機関 各位

国立市市長室広報・広聴係

「認知症の人と共に暮らしやすいまちづくり」について考える

第12回『国立市認知症の日イベント』を 会場とオンラインで開催します

費用無料

市では、毎年10月の第3土曜日を「国立市認知症の日」に制定し、その前後で「国立市認知症の日」イベントを開催し、認知症について知り、考えるきっかけづくりに取り組んでいます。

第12回を迎える今回は、「認知症の人と共に暮らしやすいまちづくり」をテーマに、第1部では会場での映画上映を、第2部では基調座談会とシンポジウムを会場とオンライン配信にて実施します。

このことについて、市内外に広く周知したく、ぜひ、当日の取材および貴媒体での掲載方、お願いいたします。

記

- 1. 日時** 10月22日（日曜日）
午前の部：午前10時～11時40分
午後の部：午後1時～3時30分
- 2. 場所** くにたち市民芸術小ホール（国立市富士見台2-48-1）
- 3. プログラム**

■午前の部：映画「オレンジ・ランプ」上映会
（申込先着順・定員100名）

39歳で若年性認知症と診断された丹野智文さんの実話をもとに、貫地谷しほりと和田正人主演で描く、夫婦の希望と再生を描いたドラマ。

申込 10月5日（木）より、下記まで電話でお申し込みください。

国立市在宅療養推進連絡協議会事務局
TEL.042-569-6213（午前9時～正午）



▲「オレンジ・ランプ」のポスター。



■午後の部：基調座談会・シンポジウム

(手話通訳付き・オンライン配信あり)

★基調座談会「認知症とともに暮らすまちについて」

登壇者：さとう みき氏

43歳のとき、若年性アルツハイマー型認知症と診断を受ける。現在は「おれんじドアはちおうじ」の代表として、各地のユニバーサルデザイン委員会への参加や講演会などの活動を行っている。とうきょう認知症希望大使。



▲さとう みき氏。

登壇者：堀田 聡子氏

慶應大学大学院教授。認知症のある方の思いや体験、知恵を中心に、安心して認知症になれる社会を探索する。2020年からさとうみき氏の活動パートナー。



▲堀田 聡子氏。

★シンポジウム

テーマ①「認知症の人と共に暮らすまち」

シンポジスト：さとう氏、堀田氏、市職員

テーマ②「認知症の本人・家族と語る」

シンポジスト：国立市在住の認知症本人と支える家族、堀田氏、吉垣氏(認知症啓発実行委員会)

第2部は、Youtubeの「国立市チャンネル」でもライブ配信します。



◀国立市チャンネル。

■ブース展示(午前10時～午後4時)

国立市地域活動紹介冊子「さあ行ってみよう！」掲載の「市民自主グループ(集い)」の活動紹介パネルを展示します。

場所 くにたち芸術小ホール2階 キャラリー

以上

問い合わせ

健康福祉部高齢者支援課 地域包括支援センター(市役所内)
TEL: 042-576-2123(直通)